

こんげつ ひとこと
〜〜〜今月の一言〜〜〜

ひっしやめい いのうえ
筆者名 井上

かわたれの番が回ってきた時は、音楽か美術か文具のことを書くことにしている 1号室の井上です。今回はこの間行った展覧会のことについて書くことにします。

先日、天気の良い週末に、府中市美術館で開かれている

『インド細密画』という展覧会を見に行きました。みなさんはインドにどんなイメージがありますか？ 私は「カレー美味しいなー」とか…「ビートルズが行ってたなー」とか…。そのくらいです。つまり、あまり詳しくないということです。

この展覧会では 16世紀～19世紀にムガル帝国やラージプ
諸国（今のインド周辺）の宮廷で楽しまれていた小さい絵画
が展示されています。その絵画の主なテーマは神話や音楽など
です。絵のタッチには、リアルさよりも造形美を求めたバキッ
とした強い色遣いなどの特徴があります。中でも、私はラー
ガマーラというジャンルの作品に興味を持ちました。

インドにはラーガという古典音楽があります。ラーガとは演奏
するのに相応しい時間や込めるべき感情が定められた旋律
で、それ自体でも興味深い音楽です。そのラーガを絵にしてい
るものがラーガマーラです。音楽という芸術を、絵画という別

の芸術で表現しているのです。インド周辺の様々な考え方や思考が混ざり合った非常に面白い作品だと感じました

インドに全く詳しくない私でも、楽しく見ることが出来ました。

図録もついつい買ってしまったので、興味のある方はお声がけ下さいね。一緒に眺めて楽しみましょう。

